



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月2日

上場会社名 持田製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4534 URL <https://www.mochida.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 持田 直幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 宮本 憲一

TEL 03-3358-7211

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	25,407	2.7	2,189	13.0	2,367	8.7	1,554	7.9
2024年3月期第1四半期	24,747	10.6	2,515	41.0	2,592	41.3	1,688	46.5

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 848百万円 (65.0%) 2024年3月期第1四半期 2,427百万円 (26.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	43.85	
2024年3月期第1四半期	46.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	158,051	127,396	80.6
2024年3月期	158,800	127,967	80.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 127,396百万円 2024年3月期 127,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		40.00		40.00	80.00
2025年3月期(予想)		40.00		40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	3.0	7,500	29.3	7,700	27.5	5,600	23.1	157.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8'2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	37,470,000 株	2024年3月期	37,470,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期1Q	2,018,759 株	2024年3月期	2,018,491 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	35,451,376 株	2024年3月期1Q	36,511,601 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. 補足情報	9
(1) 主要製品の売上高	9
(2) 医薬品等開発状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

医薬品業界は、医療費抑制策が継続的に推し進められるなか毎年薬価改定が実施されるなど、引き続き厳しい環境下にあります。

当社グループ(当社及び連結子会社、以下同じ)は、医療・健康ニーズに応え、グローバルにも存在価値を認められる特色ある生命・健康関連企業グループとして成長するために、研究・開発から製造・販売までのグループ総合力を結集し、持続的成長に向けて選択と集中を進め、更なる環境変化に対応すべく収益構造の再構築を進めております。当期を含む22-24中期経営計画期間中は「新薬を中心とした重点領域における収益の最大化」「将来の競争力に結びつく事業活動への投資」「イノベーション創出と生産性向上に向けた企業体制の強化」を課題として重点的に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における医薬品関連事業は、重点領域の「循環器、産婦人科、精神科、消化器」にリソースを集中し、主力製品を中心とした情報提供活動を積極的に展開いたしました。また、ヘルスケア事業は、皮膚科医・産婦人科医や看護師等の高い支持を基盤としたマーケティングの推進に努め、市場開拓を図ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は25,407百万円で前年同期比2.7%の増収となりました。

これを事業別に見ますと、医薬品関連事業は薬価改定の影響を受けたものの、売上高は23,715百万円で前期比2.5%の増収となりました。新薬の売上高は、潰瘍性大腸炎治療剤「リアルダ」、慢性便秘症治療剤「グーフイス」「モビコール」、痛風・高尿酸血症治療剤「ユリス」、及び肺動脈性肺高血圧症治療剤「トレプロスト」が伸長し、前年同期を上回りました。2023年6月に販売を開始した潰瘍性大腸炎治療剤「オンボー」、及び2023年9月に販売を開始した潰瘍性大腸炎治療剤「コレチメント」も寄与しました。長期収載品、及び後発品事業の売上高は前年同期を下回りました。

ヘルスケア事業の売上高は1,691百万円で前年同期比5.2%の増収となりました。抗真菌成分配合シャンプー・石鹸をはじめとする「コラージュフルフルシリーズ」、及び基礎化粧品「コラージュリペアシリーズ」の売上高が伸長しました。

次に当第1四半期連結累計期間の利益面につきましては、薬価改定および円安による原薬・製剤の輸入価格の上昇による売上原価率の上昇等により、営業利益は2,189百万円で前年同期比13.0%の減益となりました。経常利益は2,367百万円で前年同期比8.7%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,554百万円で前年同期比7.9%の減益となりました。

研究開発の状況につきましては、研究面では、オープンイノベーションの推進、及び外部リソースを活用した創薬により細胞・核酸・遺伝子などの新たなモダリティを取り込み、創薬パイプラインの充実を図っております。再生医療等製品の分野においては、間葉系幹細胞を用いたプロジェクトに優先的に取り組んでおり、ヒト歯髄幹細胞SHED、高純度間葉系幹細胞REC、臍帯由来細胞「HLC-001」による治療法の開発を進めております。核酸医薬については、高度な専門性を持つ人財や、創薬技術の獲得を積極的に進め、競争優位性のある創薬研究を推進しております。また、当社で創製したTRPV1拮抗薬については、千寿製薬株式会社がドライアイ治療薬として開発を進めております。現在、国内臨床第Ⅲ相試験が終了し、比較試験において有効性の主要評価項目を達成したこと、長期試験において臨床使用上の安全性に問題がないことを2024年7月に公表しました。

臨床開発面では、「リアルダ」の小児適応の用法・用量追加の承認申請を2024年7月に行いました。ネクセラファーマージャパン株式会社(旧アイドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社)と共同開発を行っている不眠症治療薬「ACT-541468」は、同社が製造販売承認申請中です。「トレプロスト吸入液」は、間質性肺疾患又は気腫合併肺線維症に伴う肺高血圧症に対する効能・効果追加の承認申請中です。「ユリス」の小児適応は、臨床第Ⅲ相段階にあります。また、中国において住友制薬(蘇州)と提携して開発を進めている高純度EPA製剤「MND-21」の新薬承認申請が2024年7月に受理されました。

次世代の柱の一つと位置付けるバイオマテリアル事業においては、アルギン酸を基盤とする各プロジェクトを推進しております。神経再生誘導材「ReFeel」は米国において510(k)許可を2024年6月に取得しました。現在、発売に向けた準備を進めています。軟骨修復材「dMD-001」は製造販売承認申請中です。海綿体神経損傷治療材「dMD-002」は探索的治験段階、癒着防止材「dMD-003」は検証的治験段階にあります。

当第1四半期連結累計期間の研究開発費は2,329百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は158,051百万円となり、前連結会計年度末比で749百万円減少いたしました。

資産の減少は、主に現金及び預金が増加しましたが、売掛金や投資有価証券が減少したためです。負債の減少は、主にその他の流動負債に含まれる未払費用が増加しましたが、賞与引当金や支払手形及び買掛金が減少したためです。純資産の減少は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加があったものの、配当金の支払による利益剰余金の減少や、投資有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少があったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間はほぼ計画に沿った業績で推移しているため、2024年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,290	36,226
売掛金	34,838	32,617
有価証券	13,499	13,499
商品及び製品	18,535	18,395
仕掛品	1,428	2,367
原材料及び貯蔵品	10,315	10,215
その他	4,753	3,432
流動資産合計	116,662	116,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,823	6,746
機械装置及び運搬具（純額）	1,667	1,866
土地	5,993	5,993
その他（純額）	1,390	1,341
有形固定資産合計	15,874	15,948
無形固定資産	721	714
投資その他の資産		
投資有価証券	16,116	15,100
繰延税金資産	2,372	2,748
その他	7,052	6,785
投資その他の資産合計	25,541	24,634
固定資産合計	42,138	41,297
資産合計	158,800	158,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,975	9,840
電子記録債務	1,207	1,152
未払法人税等	593	928
賞与引当金	2,140	992
その他の引当金	163	115
その他	10,992	12,894
流動負債合計	26,073	25,924
固定負債		
退職給付に係る負債	3,908	3,879
その他	851	850
固定負債合計	4,759	4,730
負債合計	30,833	30,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,229	7,229
資本剰余金	1,871	1,871
利益剰余金	117,022	117,158
自己株式	△7,021	△7,021
株主資本合計	119,102	119,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,585	7,897
退職給付に係る調整累計額	279	261
その他の包括利益累計額合計	8,864	8,158
純資産合計	127,967	127,396
負債純資産合計	158,800	158,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
売上高	24,747	25,407
売上原価	11,542	12,451
売上総利益	13,205	12,955
販売費及び一般管理費	10,689	10,766
営業利益	2,515	2,189
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	181	203
その他	36	29
営業外収益合計	218	234
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	43	24
支払手数料	3	3
為替差損	90	25
その他	3	2
営業外費用合計	142	56
経常利益	2,592	2,367
特別利益		
固定資産売却益	—	1
受取和解金	11	—
特別利益合計	11	1
特別損失		
固定資産除売却損	31	4
特別損失合計	31	4
税金等調整前四半期純利益	2,572	2,364
法人税等	884	809
四半期純利益	1,688	1,554
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,688	1,554

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,688	1,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	750	△687
退職給付に係る調整額	△11	△18
その他の包括利益合計	738	△706
四半期包括利益	2,427	848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,427	848

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社グループの報告セグメントは、医薬品関連事業のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	643百万円	705百万円

3. 補足情報

(1) 主要製品の売上高

主要製品の売上高

(2025年3月期 第1四半期実績)

(単位：億円)

製 品 名	前 期 2024年3月期		当 期 2025年3月期		対前年 同四半期 増減率
	第1四半期 実績	年間 実績	第1四半期 実績	年間 見込	
潰瘍性大腸炎治療剤 リアルダ	36	145	37	146	+ 3%
慢性便秘症治療剤 グーフィス	19	77	20	90	+ 7%
高脂血症・閉塞性動脈硬化症治療剤 エパデール	20	74	15	65	△ 25%
慢性便秘症治療剤 モビコール	14	59	15	60	+ 9%
痛風・高尿酸血症治療剤 ユリス	7	33	10	54	+ 38%
抗うつ剤 レクサプロ	13	52	9	37	△ 28%
肺動脈性肺高血圧症治療剤 トレプロスト	4	23	10	28	+ 134%
慢性疼痛・抜歯後疼痛治療剤 トラムセット	6	22	4	20	△ 23%
持続性Ca拮抗降圧剤 アテレック	6	23	4	18	△ 24%
潰瘍性大腸炎治療剤 コレチメント	-	2	0	14	-
血液凝固阻止剤 ヘパリンNa	3	13	3	12	+ 1%
子宮内膜症・子宮腺筋症・月経困難症治療剤 ディナゲスト	2	11	2	7	△ 21%
後発品	74	326	72	285	△ 3%
スキンケア製品	16	64	16	68	+ 5%

- ・アテレックは、アテディオを含む
- ・コレチメントは、2023年9月より販売を開始

(2) 医薬品等開発状況

医薬品等開発状況

【医薬品】

開発コード 〈一般名〉 〔製品名〕	開発段階	予定適応症	剤型	備考
ACT-541468 〈ダリドレキサント塩酸塩〉	申請中	不眠症	経口剤	ネクセラファーマージャパン(株)(旧イドルシアファーマシューティカルズジャパン(株))と共同開発
MD-711 〈トレプロスチニル〉 〔トレプロスト吸入液〕	申請中	間質性肺疾患又は 気腫合併肺線維症に 伴う肺高血圧症	吸入剤	ユナイテッド・セラピューティクス社から導入 自社開発
* MD-0901 〈メサラジン〉 〔リアルダ〕	申請中	潰瘍性大腸炎 (小児適応)	経口剤	武田ファーマシューティカルズU.S.A.社から導入 自社開発
FYU-981 〈ドチヌラド〉 〔ユリス〕	臨床第Ⅲ相	痛風・高尿酸血症 (小児適応)	経口剤	(株)富士薬品と共同開発
* MND-21 〈イコサペント酸エチル〉 〔エパデール〕	申請中	高トリグリセリド血症	経口剤	開発地域:中国 住友制薬(蘇州)と提携・開発

【医療機器】

開発コード又は製品名	開発段階	予定する使用目的 又は効果	備考
dMD-001	申請中	関節軟骨損傷	アルギン酸ゲル 自社開発
dMD-002	探索的治験	海綿体神経損傷	アルギン酸シート 自社開発
dMD-003	検証的治験	術後の癒着	アルギン酸シート 自社開発
* ReFeel	許可取得 (510(k))	末梢神経損傷	開発地域:米国 アルギン酸シート 自社開発

医療機器の臨床試験に関する開発段階を探索的治験と検証的治験に区分しています

* 2024年3月期決算短信(2024年5月13日公表)からの変更点